

あんなかT3プロジェクト

Tsudou 集う・
Tsunagaru つながる・
Takamaru 高まる

JR信越本線安中・磯部駅間の
新駅構想周辺まちづくり基本構想

スタートアップビジョン



1. あんなかT3プロジェクト スタートアップビジョンとは

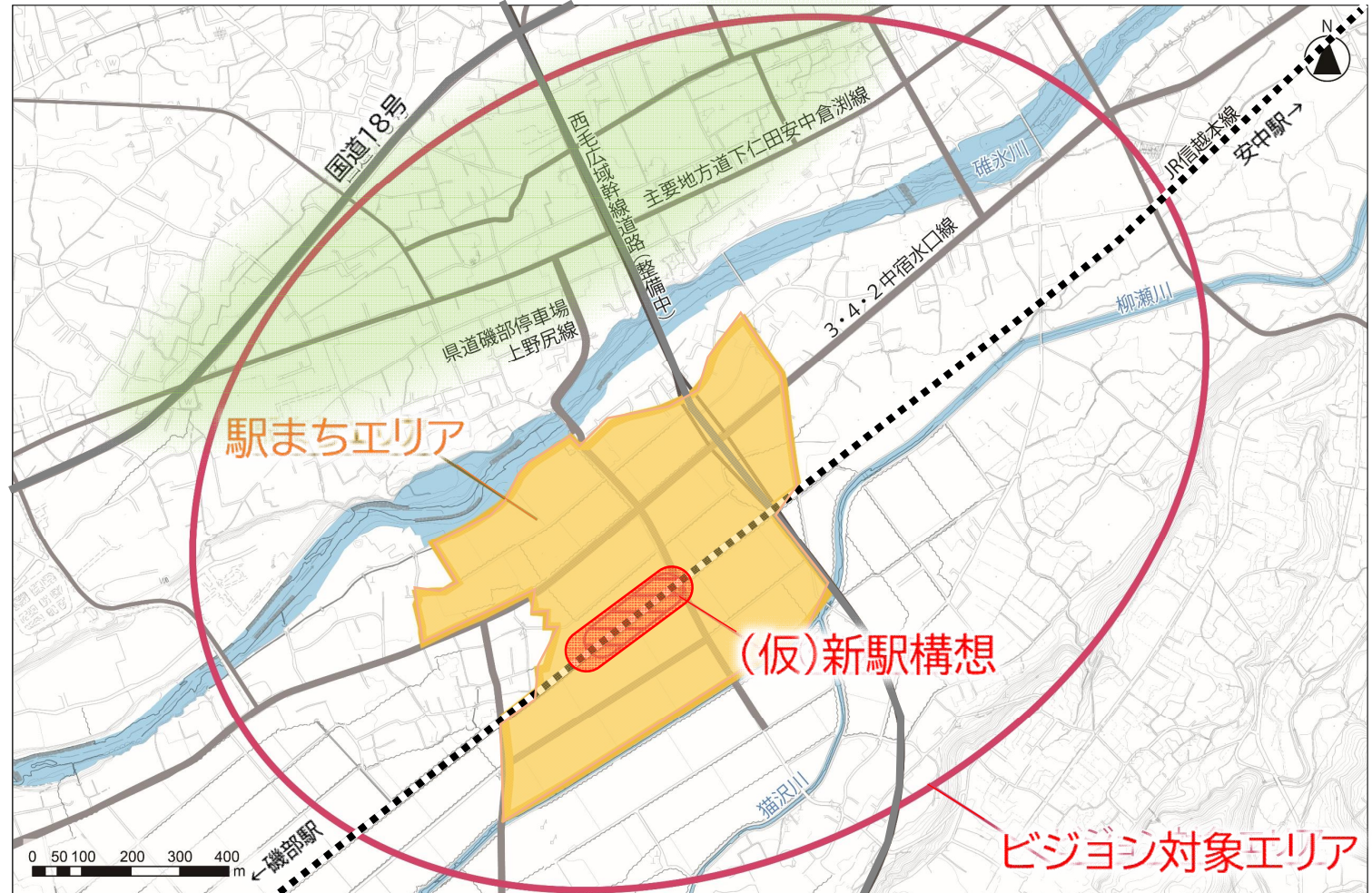
ビジョン策定の目的

■既存市街地と連携した、駅まちエリアを核とした新たなまちづくりの方向性や将来像を示します。

■交通や生活環境の質を高めながら、地域全体の魅力と価値を持続的に向上させます。

対象エリアの立地特性

■西毛広域幹線道路とJR信越本線が交差する地点で、交通拠点として高い潜在能力を有しています。



2. 対象エリアの現状と課題

対象エリアの現状

<p>人口・世帯数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 概ね横ばい 	<p>都市計画等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅まちエリアは一部用途無指定地域、一部農用地区域
<p>土地・建物利用及び開発動向</p>	<ul style="list-style-type: none"> 碓氷川右岸の既存市街地は未利用地が広がる 	<p>都市基盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅まちエリアには、個別の開発に伴う引き込み道路が多数存在
<p>交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス(あんバス)は既存市街地を中心に運行 デマンド型交通(あんなカー)は、市内全域を2エリアに分けて運行 		

対象エリアのまちづくりの課題

<p>計画的な土地利用の推進と戦略的な都市機能の立地誘導</p>	<p>利便性が高い道路交通・公共交通ネットワークの形成</p>	<p>誰もが快適に過ごせる市街地環境の創出</p>
----------------------------------	---------------------------------	---------------------------

3. 将来のまちの姿

将来像と将来構造図

好きが続く、まち。

【拠点】

■にぎわいの拠点

交通拠点機能や生活環境を基盤として、人が集い、交流や日常のにぎわいが生まれる場所

■交通の拠点

多様な交通が集積する場所

■みどりの拠点

まとまったみどりがあり、人々の滞留・交流の場となる場所

【軸】

■道路交通軸

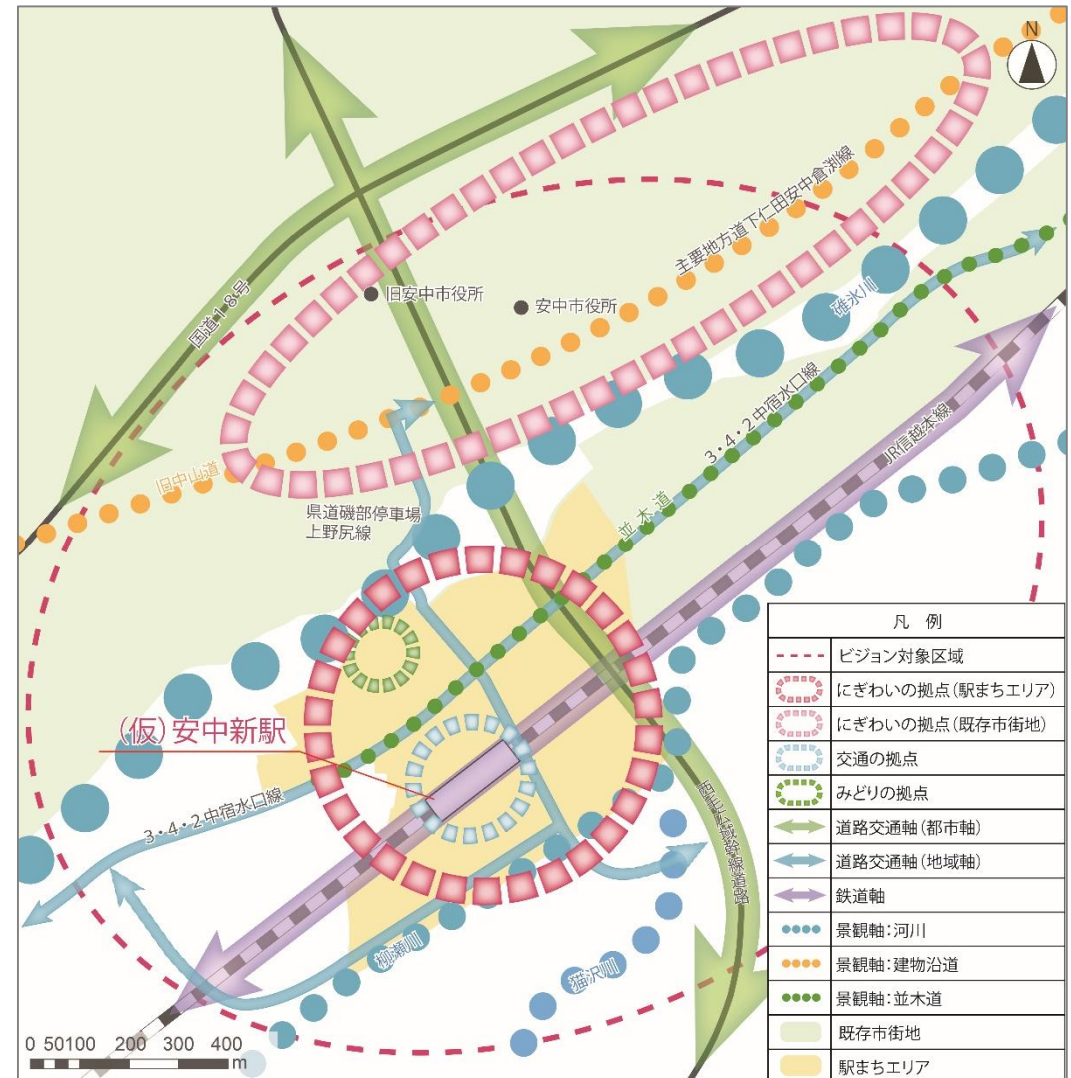
市内外や駅まちエリアと周辺の市街地の結びつきを強化する道路

■鉄道軸

市内の主要な鉄道

■景観軸

歴史ある通りや景観と調和した空間



3. 将来のまちの姿

駅まちエリアのまちづくりのコンセプト

集う・つながる・高まる あんなかの新たな駅まちづくり
～あんなかT3プロジェクト～

集う

■ 多様な施設や機能が集積し、その利便性や魅力、さらにはイベントの開催等も通じて、自然に人や多様な活動が集まり、にぎわいが生み出されます。

つながる

■ 多様な手段での移動や道路整備により、エリア内の回遊性が向上し、市内・市外が、駅まちエリアを中心に繋がります。

高まる

■ 本市の魅力である景観や歴史的資源等を活かすとともに、安全・安心なまちを実現することで、生活の質やまちの価値が高まります。

3. 将来のまちの姿

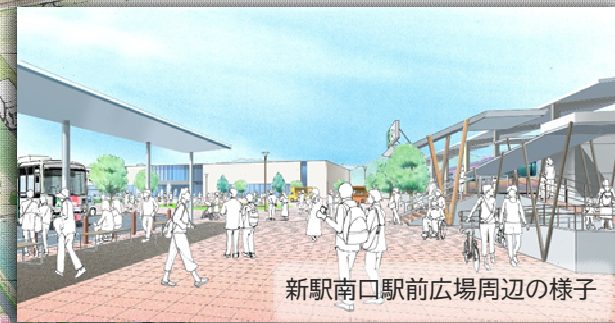
駅まちエリアのイメージ



県道磯部停車場上野尻線沿道の様子



新駅北口駅前広場周辺の様子



新駅南口駅前広場周辺の様子

※イラストは市民ワークショップ等で得られた皆さんの意見を参考に作成したものです。
皆さんの意向を参考に今後検討を進めていきます。

4. 駅まちエリアのまちづくりの方針

課題①

計画的な土地利用の推進と
戦略的な都市機能の立地誘導

課題②

利便性が高い道路交通・公
共交通ネットワークの形成

課題③

誰もが快適に過ごせる
市街地環境の創出

好きが続く、まち。

テーマ① 多様な人や活動が集う

①施設整備によるにぎわいの拠点づくり

- 役割分担を考慮したにぎわいの拠点の創出
- 気軽に買い物ができる商業機能の確保
- 芸術・文化を楽しめる機能の確保
- 本市の魅力を発信する機能の確保

②人が集まり交流できるオープンスペースの創出

- 誰もが立ち寄りやすい滞留・交流空間の創出
- 河川を活かした親水空間の創出

テーマ② 暮らしと拠点がつながる

①誰もが利用しやすい公共交通手段の確保

- 交通拠点機能の確保
- 多様な移動手段の確保

②誰もが移動しやすい道路整備の推進

- 段階的な道路整備の推進
- 安心・快適に移動できるウォークアブルな空間整備の推進

テーマ③ 生活の質やまちの価値が高まる

①安全・安心して暮らせる環境の形成

- 防災力の向上
- 防犯力の向上

②地域の魅力の向上

- 山並み眺望と駅前・鉄道沿線の景観の形成
- 趣ある景観の形成
- 並木道を活かした歩行空間の形成

5. 駅まちエリアのまちづくりの取組方策

本市の想定する取組スケジュール

■現時点で新駅の設置は決定されていませんが、本ビジョンにおいては、西毛広域幹線道路の全線開通が予定されている令和13年度末を開業目標とします。

■本内容は基本構想の段階での予定であり、今後、関係する団体及び事業者、関係機関と詳細な調整を行っていくことから、変更になる可能性があります。

	R8年度～R12年度	R13年度	R14年度以降
共通事項	第3次安中市総合計画 基本構想計画期間		●西毛広域幹線道路全線開通 ●新駅開業目標 ※新駅設置は現時点では決定されていません
■土地利用の具体的検討	導入機能・誘導施設の検討		
■都市基盤整備の具体的検討	駅前広場の検討 その他都市基盤整備の検討		
■面的整備手法の検討	面的整備手法の検討	優先整備 (都市基盤及び宅地造成)	その他整備
■土地利用の規制・誘導方策の検討	用途地域の検討 地区計画の検討 特定用途制限地域の検討		
■関係機関協議の深度化	農林調整 都市計画手続き (用途地域等)	その他関係機関協議 その他法定等手続き	
■地域住民・事業者等意向の継続把握	意向調査・ワークショップ・住民説明会等		